

第16回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和3年3月10日（水） 14時00分

2. 場 所

市役所第2庁3階 2-301・302会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

社会教育課長 小林 康弘

文化財課長 村上 由樹

中央図書館館長 樋口 裕昭

田園交響ホール館長 小林 純一

こども未来課長 中筋 有香

地域コミュニティ課長 谷掛 昭二

総 務 課 長 波部 正司

教育研究所副所長 方山 直人

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

14時02分

7. 会 期

（自）令和3年3月10日

（至）令和3年3月10日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

中村 委員

9. 閉 会 15時39分

前川教育長	日程第 1、令和 2 年度第 15 回会議録の報告、承認について意見等はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
前川教育長	日程第 2、会議録署名委員は 2 番中村委員とする。
前川教育長	日程第 3、会期は令和 3 年 3 月 10 日、本日 1 日間とする。
前川教育長	日程第 4、議案に移る。令和 2 年度第 15 回定例会議案第 3 号（継続審議）「丹波篠山市図書館サポーター制度運営要綱の制定について」中央図書館説明を求める。
樋口館長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	業務内容は専門性を必要とする内容に見受けられ、ボランティアに求める範囲を超えているように感じる。無償で協力いただくことに問題はないのか。せめて、交通費程度の謝金は支給するべきではないか。
樋口館長	作業内容は、ボランティアの方の希望に応じて割り振るが、基本的には軽微な作業を予定している。しかし、一定の完成度を求めるため、研修を行う予定である。丹波市でも同様のボランティア制度を実施しており、丹波篠山市でも実施が可能であると考える。
中村委員	子ども達は社会と関わることで大きく成長する。年齢要件について、今後の状況に応じて変更していくとのことであるので、子ども達も関わってほしいよう、要望の声があれば対応して欲しい。
酒井委員	年齢要件について、義務教育は中学校までで、義務教育終了後は働くこともできる。中には、それぞれの事情で学校に通学できない子ども達もいることが考えられるが、そういった子ども達のために社会と触れる場を様々な場面で設けることは必要ではないか。参加を 18 歳以上に制限する理由を教えてください。
樋口館長	ボランティアに作業を行っていただく日時を平日の利用者が少ない昼頃に想定しており、18 歳以下の方はほとんどが学校へ通われている時間帯である。学生の方に対しては、夏季休業期間などに別途、図書館業務を体験いただく事業を設定しているので、そちらに参加していただくことを考えている。書架への返本など、一定の責任を負っていただく作業もあり、研修等による指導も行っていくが、18 歳以上の方に担っていただくことが望ましいと考えたため、年齢制限を設けている。
酒井委員	子ども達の多様な活躍の場を設けることも必要であると思う。見解の相違であると思うが、門戸を広げることも今後検討して欲しい。
樋口館長	図書館サポーター制度としては、18 歳の年齢制限を設けているが、図書館

前川教育長	<p>の業務に子ども達が触れる機会は他で設けている。</p> <p>子ども達が様々なことに取り組むことは、非常に重要である。社会参加の一つとして、図書館だけでなく、学校教育課、社会教育課など関連する部局も情報共有しながら、取り組んでいきたい。</p>
垣内委員	<p>条文を読む限りでは、知識及び技能を有する者でなければ参加できないように思われる。また、知識及び技能を有する者が知識、技能を使ってサポートいただくということは、やはり対価を支払わなければならないように感じてしまう。あくまで無償で、各個人の自由意志により可能な範囲でお手伝いいただくことが分かる内容に文章を改めても良いのではないか。</p>
樋口館長	<p>条文はこのままで進めるが、サポーターの方へお配りする他の説明資料で分かりやすい文言を記載することに加え、さらに説明会でもしっかりと説明を尽くすことで対応する。</p>
前川教育長	<p>様々な意見に感謝する。よりよい制度となるように事務局にて手続きを進めていきたい。</p>
前川教育長	<p>令和2年度第15回定例会議案第3号（継続審議）「丹波篠山市図書館サポーター制度運営要綱の制定について」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、令和2年度第15回定例会議案第3号（継続審議）「丹波篠山市図書館サポーター制度運営要綱の制定について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第1号「『丹波篠山市立中学校部活動ガイドライン』の制定について」学校教育課説明を求める。</p>
酒井次長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>十分に議論を尽くしたこと、学校現場の理解も得られていることからこのガイドラインで問題ないと考える。</p> <p>ガイドラインはあくまで指針であると思う。学校によって状況も異なるので、それぞれの状況に合わせて、責任者の学校長が一定の裁量で判断できるようにも配慮してほしい。</p>
垣内委員	<p>多くの議論によってできたガイドラインであり、学校の意見も反映されている。部活動がこのガイドラインに沿って行われることを学校運営協議、地域住民などにも周知してほしいと思う。</p>
山本委員	<p>垣内委員の意見に関連して、保護者がこのガイドラインが見ることはできるのか。</p>
酒井次長	<p>市としての方向性を示したものであるので、広く市民へ周知したいと考えている。生徒にはもちろん保護者等にも目にしていただける機会を設けていきたい。</p>

前川教育長	議案第2号「『丹波篠山市立中学校部活動ガイドライン』の制定について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第2号の「『丹波篠山市立中学校部活動ガイドライン』の制定について」を可決する。
前川教育長	日程第5、承認事項に移る。承認第1号「令和2年度3月補正予算（第14号）案の市長への提案について」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき説明》
前川教育長	承認第1号の「令和2年度3月補正予算（第14号）案の市長への提案について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、承認第1号の「令和2年度3月補正予算（第14号）案の市長への提案について」を承認する。
前川教育長	日程第6、協議事項に移る。協議第1号「『令和3年度丹波篠山の教育』概要版について」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき報告》
酒井委員	<p>本当に必要なものに取り組んでほしいと思う。令和2年度は新型コロナの影響で学力に対して不安があったと思う。学力向上のためには現状を知ること必要であるが、学力調査を実施できていない。</p> <p>学力に限らず、コロナ禍で取り組めなかったことがあったからこそ、令和3年度は、本当に必要なものを絞って、取り組む必要があるように思う。実施したものを点検して評価することは、事務局も負担になる。事務量が増えると、全てに注力できない。集中的に取り組むために取捨選択も必要ではないかと思う。</p>
山本委員	緻密に取り組んでいただいておりますが、保護者として感謝しているが、保護者が見た際に、取り組む事業の量が多く、どれに重点的に取り組むのか分かりにくいと感じた。酒井委員の意見と同様に、事業を絞り込んでもよいのではないかと思った。
中野課長	<p>「令和3年度丹波篠山の教育」概要版については、新規・重点的な取組のみを掲載するのではなく、教育のベースとなる取組ももちろん掲載してお知らせしなければならないように思っている。ご意見を参考に取捨選択する可能性もあるが、ベースはこの事務局案で進めたいと考えている。</p> <p>点検・評価についても、ご意見のとおり全てを点検・評価するのは労力を要するので、点検・評価を行う項目を再検討し、実施したいと考える。</p>

垣内委員	市民にも見やすいように掲載内容にも強弱をつけるのはいかがか。新聞記事にも大見出し、小見出しがある。教育委員会の方針も踏まえて、重点している取組を大きく記載、その他は小さく記載するなど、見やすいレイアウトに変えることも必要ではないか。
中村委員	他の委員の意見のとおりであると思う。この「丹波篠山の教育」が、丹波篠山市で子育てがしたいと思える市になるための指針であってほしい。
酒井委員	教育委員会事務局の職員が多くのことを行わなければならないことは理解している。遅くまで勤務していただいていることも承知しており、厳しい状況であると思う。指針と同様に日々の業務でも本当に必要なものを見極めて、注力して行ってほしい。無理のないように業務にあたってほしい。
前川教育長	日程第7、報告事項に移る。報告第1号「寄附採納について」教育総務課報告を求める。
田中係長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。
田中係長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告3「小中学校児童生徒の問題行動等（1月分）について」学校教育課報告を求める。
尾松課長	《議案書に基づき報告》
酒井委員	小学校の不登校数が多くなっていることが気になる。コロナが関係しているなど、もし原因が分かっているならば教えてほしい。
尾松課長	過年度からの継続不登校児童が多いのが実際である。不登校児童の増加が新型コロナに関連しているかどうかは、分析できていない。 様々な背景を抱えている児童が増えている。また、本人の特性から、友人関係を円滑に築けない児童も多い。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家とも協力しながら、組織的に個別に対応を図っている。不登校児童数として計上はしているが、コンタクトが取れていない児童はいない。定期的に登校したり、放課後に登校したりする児童もおり、改善の傾向が見られるとの報告も受けている。
前川教育長	報告4「第41回丹波篠山ABCマラソン・オンラインの結果について」社会教育課報告を求める。
小林課長	《議案書に基づき報告》

前川教育長	報告 5「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会聖火リレー事業及びホストタウン事業について」社会教育課説明を求める。
小林課長	《議案書に基づき報告》
山本委員 小林課長	事後交流等について具体的にどのようなことをするのか教えてほしい。 オリンピック・パラリンピックに出場したバハマ、プエルトリコ、タイニーズ・タイペイの選手を大会終了後に丹波篠山市にお招きし、子ども達との交流や丹波篠山市の文化などに触れていただくイベントを実施していく事業である。
前川教育長	報告 6「丹波篠山市立文化4館資料取扱規程の制定について」文化財課説明を求める。
村上課長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 7「たきこども園職員の新型コロナウイルス感染に係る対応課題と改善策について」こども未来課説明を求める。
中筋課長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 8「日本農業遺産の認定について」教育総務課説明を求める。
稲山部長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 9「教育長報告」をする。 それでは、第 16 回定例教育委員会をこれで終了する。